

経営比較分析表

岐阜県 山県市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.55	83.17	2,376

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,798	221.98	129.73
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
23,696	197.21	120.16

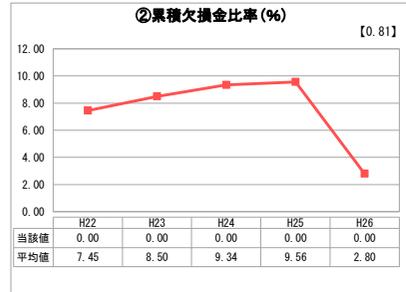
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

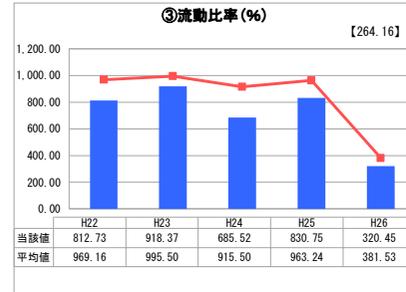
1. 経営の健全性・効率性



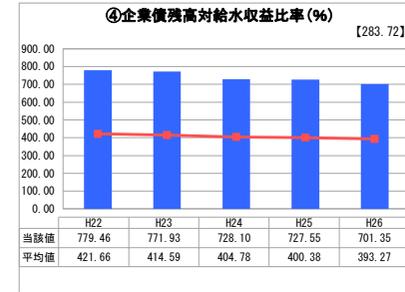
「経常損益」



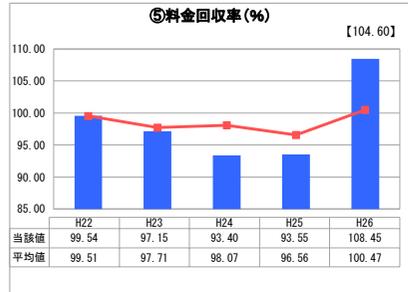
「累積欠損」



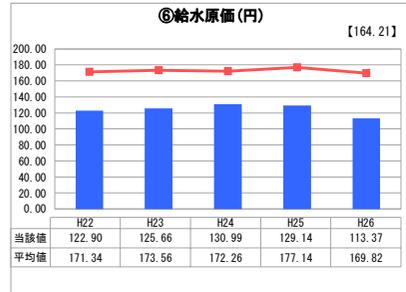
「支払能力」



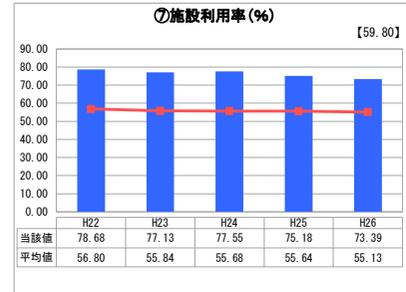
「債務残高」



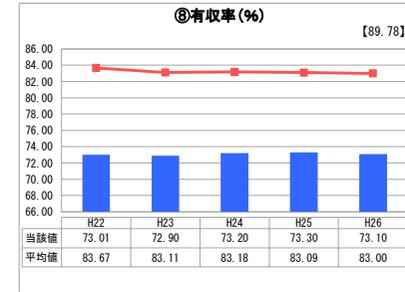
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

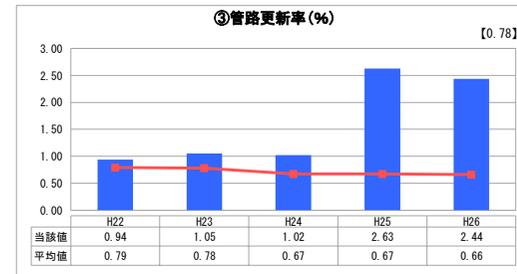
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、平成26年度において類似団体平均値と比較し高い水準となっているが、長期前受金戻入の割合が高く、今後は営業費用の削減に努める必要がある。

② 流動比率は、類似団体平均値と比較し、多少低い水準となっているが、100%を大きく超えておりこのまま推移していけば良い。

③ 企業債務高対給水収益比率は、類似団体平均値と比較し高い水準となっており、本市においては投資規模は適切であるが、今後、必要な投資があれば計画的に対応したい。

④ 料金回収率は、平成26年度において類似団体平均値と比較し高い水準となっているが、供給単価と給水原価で比較すると84.42%となり、人口減により給水収益減少が予測され、今後料金の見直しの検討も考えていかなければいけない。

⑤ 給水原価は、類似団体平均値と比較し、低コストであり良好と考えられる。

⑥ 施設利用率は、類似団体平均値と比較し、高い水準となっており、施設の利用状況や適正規模については良好である。

⑦ 有収率は、類似団体平均値と比較し、多少低い水準となっているが、過去5年間は横ばい状態にあり、管路整備を計画的に遂行し、少しでも有収率を上げていきたい。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値と比較すると低い水準となっており、今のところ資産の老朽化はないと判断できる。

② 管路更新率は、類似団体平均値と比較すると高い水準となっており、特に平成25年度及び平成26年度は公共下水道事業に伴い水道管を布設替えたことにより、更新率が大幅に高くなった。平成22年度から平成24年度までは、更新率が1%程度であり、今後においては、耐用年数に考慮し、少しでも更新率を上げていきたい。

全体総括

今後、人口減や市民の節水意識の向上により、給水収益が減少していく傾向にあり、経費の節減は必要不可欠ですが、限りがあるので料金改定も検討していかないといけない。また、経営状況との兼ね合いはあるが管路更新については、計画的に耐用年数を考慮し進めていく必要がある。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。